

## 研究実施のお知らせ

「横浜市における発達障害のある中高生の支援と相談動向」の研究を実施します。本研究では、2013年から2023年の間に横浜市学齢後期発達相談室くらすで収集された発達障害のある小学6年生、中高生（計1087名）およびその保護者の相談記録を匿名化して使用します。10年間のデータを活用することにより地域の課題を具体的に把握し、効果的な支援策を提案することを目指しています。対象者の皆様には、本研究が横浜市における支援の質を高め、より多くの方々に寄り添う体制づくりに直結するものであることをご理解いただきたく存じます。つきましては、研究に関する情報をご確認いただき、データ使用を拒否する場合には所定の方法でお知らせください。

### 1. 研究の目的

発達障害のある中高生およびその保護者に対する支援と相談動向を整理し、以下の2点を明らかにすることを目的とします。

- (1) 相談者の学年や診断名、障害者手帳取得状況などの特徴を明らかにする。
- (2) 支援供給の課題を抽出し、より効果的な支援体制構築への示唆を得る。

### 2. 研究で使用するデータの種類と匿名化の方法

本研究では、横浜市内で収集された2013年から2023年の相談記録を使用します。対象は発達障害を持つ小学6年生、中高生（計1087名）およびその保護者とし、データは個人を特定できないよう厳格な匿名化処理をしたうえで、研究実施者に提供されます。また、データは適切なセキュリティ対策が施された環境下で保管され、外部への漏洩や不正利用を防止する措置を徹底しております。主に以下の項目などを分析します。

- ・新規相談件数と初回相談学年
- ・居住区、所属、男女比
- ・診断名（例：自閉スペクトラム症、ADHD など）
- ・障害者手帳の取得状況
- ・相談経路
- ・療育センター利用経験
- ・主訴
- ・支援機関との接続状況や課題等

### 3. データの使用を拒否する場合について

本研究においてデータの使用を希望されない場合や本研究に関するお問い合わせがある場合は、2025年4月30日までに、下記の連絡先までご連絡ください。

【データ使用拒否の連絡先：横浜市学齢後期発達相談室くらす TEL:045-349-4531】

本研究は、筑波大学人間系研究倫理委員会の承認を得て、皆様に不利益がないよう万全の注意を払って行われています。研究の内容に関してご意見などございましたら、お気軽に研究責任者または研究分担者にお尋ね下さい。

〈研究責任者〉 筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 助教 長山慎太郎(ナガヤマ シンタロウ)

TEL: 029-853-4584

E-mail: [nagayama.shintaro.fw@u.tsukuba.ac.jp](mailto:nagayama.shintaro.fw@u.tsukuba.ac.jp)

なお、本研究に関しまして倫理的問題等がございましたら、筑波大学人間系研究倫理委員会までご相談ください。

筑波大学人間系研究倫理委員会 TEL: 029-853-5605

E-mail: [hitorinri@un.tsukuba.ac.jp](mailto:hitorinri@un.tsukuba.ac.jp)